令和２年５月１日 第158号

議会だより

なかさつない

『守り継いでいきたい伝統文化』
村指定無形文化財「元更別大國神社石見神楽」上札内小学生の練習風景（令和２年２月撮影）
※関連記事 p.10

３月定例会

新年度予算審査 …… Ｐ２～７
条例改正・工事請負契約の変更 …… Ｐ８
補正予算など …… Ｐ９

議会報告会、編集後記など …… Ｐ10

発行／北海道河西郡中札内村議会　　編集／中札内村議会広報特別委員会
〒089-1392 北海道河西郡中札内村大通南２丁目３番地　☎0155-67-2497　FAX68-3911
URL:http://www.vill.nakasatsunai.hokkaido.jp/　　E-mail:g-gikai@vill.nakasatsunai.hokkaido.jp

健康で文化的な村づくり・持続可能性を高める施策実行へ

令和２年度は、森田村長の任期最後の本格予算編成であるとともに、第６期まちづくり計画後期基本計画の３年目となり、村長公約と「まちづくり計画」の着実な実行と人口減少の抑制を図るため「第２期中札内村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定による取組みを推進し、「村民が村に誇りを持ち、これから先も豊かな恵みを生み出せるように、各施策のブラッシュアップを図った」積極的な予算となっています。

一般会計は**前年度対比23.8%増**の**56億6,390万円**で、５特別会計を合わせた**全会計総額**が**前年度対比14%増**の**68億9,400万円**となり、過去最大の予算規模となりました。

増額の要因としては、２ヶ年事業の新庁舎建設事業６億5,975万円と新規事業の消防庁舎増築・改修事業３億2,353万円を計上したことによるものです。

３月定例会での予算審査における質疑の内容についてお知らせします。

令和２年３月村議会定例会

中札内村議会定例会は３月３日に招集され、会期を12日までの10日間とし行われました。

３日は、決議１件、承認１件、議案11件が審議可決されました。

９日に予定していた一般質問は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、議員からの質問が見送られたことにより中止となりました。

10日からの本会議では、新年度各会計予算案６件と追加議案の一般会計補正予算を審議して、11日までにすべての案件の審議を終了し閉会しました。

一般会計　歳出の概要

（単位：万円）

款		令和２年度	令和元年度	増　減　額	主な事業（新規・継続）		
1	議　会　費	4,482	4,759	△277			
2	総　務　費	17億5,879	9億6,458	7億9,422	新規	高齢者安全運転サポート補助金	57
					新規	六花の森イベント事業補助金	800
					新規	ふるさと会参加費助成事業	10
					継続	庁舎建設事業	6億5,975
					継続	まつり振興補助金	240
					継続	ふるさと納税推進	4億2,490
3	民　生　費	7億4,316	6億7,304	7,012	新規	結婚新生活支援事業	90
					継続	出産祝金	190
4	衛　生　費	2億4,326	2億5,488	△1,162	新規	新生児聴覚検査費用助成	14
					新規	子育て世代包括支援センター事業	633
					継続	七色献立プロジェクト	972
5	労　働　費	712	712	0			
6	農　林　業　費	4億9,921	5億4,944	△5,023	新規	堆肥化処理施設備品	2,200
					新規	ほ場侵入防止対策	24
					新規	大規模草地育成牧場備品	1,896
					新規	造林推進事業補助金	222
7	商　工　観　光　費	1億9,448	2億765	△1,317	新規	道の駅整備事業設計委託	655
8	土　木　費	5億3,739	5億7,944	△4,205	新規	道路改良舗装工事	1億4,420
					新規	公園施設改修工事	336
					継続	道営農道整備特別対策事業	2,200
					継続	道路維持補修工事	2,716
					継続	公営住宅改修工事	9,801
9	消　防　費	4億9,728	1億7,788	3億1,940	新規	消防庁舎増築改修事業	3億2,353
10	教　育　費	5億4,428	5億3,776	652	新規	交流の杜取付道路拡幅工事	655
					新規	指導主事共同設置事業	1,375
					継続	通学費等助成事業	126
					継続	外国語指導助手配置事業	1,039
					継続	青少年国際交流派遣研修事業	489
11	災害復旧費	932	932	0			
12	公　債　費	4億1,389	4億179	1,210			
13	諸　支　出　金	1億7,522	1億6,793	729			
14	予　備　費	500	500	0			
歳　出　合　計		56億6,390	45億7,410	10億8,980		増減率　23.8%	

令和２年度
予算審査

森田村政締めくくりの年　日本で最も美しく

企画費

ふるさと納税の更なる推進
ふるさと納税費
４億２４９０万円

問　６万２千件を超える申込み件数に対応する業務量で、職員の専任化を含めた新年度の体制は。
　また、返礼品の一部について、７ヶ月待ちの状態の改善は。

答　会計年度任用職員２名と繁忙期に対応するパートの体制や他の課からの一時的な応援を検討したい。
　また、12月から集中する申込みに対するワンストップの業務は、委託とする。
　返礼品については、業者との連携を密にし、早期の納入を目指すこととしている。

新たな返礼品の開発など工夫し新年度も納税額増加を期待

問　多くの寄附金をいただいているわけだが、今後寄附者に対する感謝祭など開催する予定はあるか。

答　寄附が今後とも続くようであれば、村をより知っていただくために、開催を検討してみたい。

問　寄附金を継続していくためには、新たな返礼品の開発が必要では。

答　更なる寄附の増額を目指して、業者間での組合せ品や定期便といった人気商品を作る工夫が必要と考えている。

提言　新たな返礼品の開発や発送体制などを整備し、寄附金の増額に努められたい。

企画費

文化の村を積極的にＰＲ
六花の森イベント事業補助金
８００万円

問　今回から夜間のイベントとし、無料にした理由と、補助金８００万円は上限か。

答　昨年までの著名なアーティストではなく、身近な方とし、多くの参加をいただくため無料とする。予算は８００万円を上限として進める。

問　夜の時間帯では年代が上の方は参加しづらいのでは。

答　今回のコンセプトは、アートとミュージックとリラックスで、音楽中心ではなく、癒しの空間で音楽を聴きながら村の食を楽しむイベントとなる。
　夜の開催で、村内に循環バスを運行し、参加しやすい体制を整えたい。

問　飲食・飲酒も予定しているようだが、夜間の開催でアルコールの提供は疑問に感じるが。

答　現段階の案で、六花亭とも協議していないことから、今後の検討となる。

問　花咲くコンサートに代わる事業として、村民から注目されているが、実施に向けどう理解や参加を求めていくのか。

答　アートも一つのテーマで、村民が製作した作品の展示や、製作ブースを設け、来場者全員で作品を作り上げることなども検討したい。

提言　住民に理解される事業となり、住民の多くが参加できるよう企画・運営されたい。

消防設備費

災害等への対応力を強化
消防庁舎増築及び改修工事請負費
３億１６６７万７千円

問　増改築の目的と工事の概略を。
　また、事業に係る財源は。

答　①改修工事による既存庁舎の長寿命化
②消防団拠点施設となる詰所の拡張により、大規模災害等への対応可能な施設として整備
③職員増に伴う執務室の拡張と当直環境の整備を目的として、既存庁舎の改築と現庁舎東側に２階建てを増築して対応するもの。
　財源については、増築部分が対象となる緊急防災減債事業（充当率１００％・交付税措置70％）を活用する。

増築・改修が行われる消防庁舎

まちづくり事業は？ 主な質疑

令和２年度 予算審査

総務管理費

活用に向けて十分なＰＲを

高齢者安全運転サポート補助金　57万円

問 車の名義が個人でない場合は、該当になるのか。また、世帯に一台の補助なのか。車両の使用者が65歳以上であれば該当となり、夫婦で別々に所有している場合も該当。

答 同じ年に車を入れ替えた場合は。

問 同じ年での更新は該当しないが、年度が変われば該当する。

提言 高齢者の安全対策として、活用してもらうための充分なＰＲを。

企画費

住民参加を促す工夫を

総合行政推進委員報酬　34万9千円

問 委員の応募の状況と応募がない場合の選考方法は。

答 現在のところ応募がなく、応募のない場合は、各種団体・機関の様々な方に声をかけ選出したい。

問 今までも各種委員を募集しても応募がない実態で、いつも同じ人が担っている傾向にあり、無作為抽出の手法を導入しては。

答 新年度の「まちづくり計画」の策定に係るワークショップでの導入を検討している。

提言 村に関心があっても接点がない人が多いと思われる。無作為抽出の手法を活用し、住民参加を促すべき。

総務管理費

新庁舎建設に伴う備品は

庁舎建設事業費

問 新年度予定される新庁舎の備品費及び外構工事費が計上されていないが、いつ頃補正予算が出されるのか。

答 備品については、令和２年・３年度の債務負担行為として６３９１万円を計上し、発注を予定する。外構工事は周辺歩道の整備との調整中で、６月か９月の定例会に補正として提案したい。

企画費

村活性化に繋がる事業へ支援を

まつり振興事業補助金　２４０万円

問 どういった事業が対象で、上限額を引上げた理由は。

答 現在実施の４つの祭りで、寄附等の減少で運営が厳しくなっていることから、補助率を65％に引上げた。

問 ４つの事業以外に村の活性化に繋がる事業への補助は考えているか。

答 予算の積算は現状の事業としているが、活性化に繋がる事業へは対応したい。

村内外から集まってにぎわう商工会七夕まつり

住民一般経費

移住・定住対策として活用を

新婚新生活支援事業補助金　90万円

問 対象となる条件は。夫婦の所得が３４０万円以下の低所得となることから、村独自に基準を変えては。

答 二人とも村外や片方が村外であっても対象となる。

共稼ぎでない場合もあり、国の制度では低所得に対する助成事業となっていることから、新年度は試行ということで考えており、ニーズ等を把握しながら今後の制度設計をしたい。

保健衛生費

支援センター体制の充実を

子育て世代包括支援センター事業　６３２万５千円

子育て世代包括支援センター開設準備費　４１７万５千円

問 年齢層が広く様々な事業が予定され、専門的な知識が必要と思われるが、職員の体制は。

答 新年度は立ち上げの年となり、助産師と管理栄養士を賃金雇用し、妊娠期から乳幼児の子育て支援を、保健師が発達支援と関係機関との相談調整を担い、役割分担で体制を整える。

なお、必要性の度合いによって人員配置を進める。

令和２年度
予算審査

今年度の住民サービスと

保健
衛生費

診療所整備の進捗状況は

診療所管理費　４６２２万円

問　令和３年度から指定管理に移行することで進んでいるが、必要な物品の新年度予算での計上がないが、今後の進め方は。

答　現在、診療所と委託先との間で調整しているが、新型コロナウィルスの影響で思うように進んでいない。
　工程表を作成し、建物や医療機器等を計画的に整備を進めることとし、開設に最低限必要なものは、補正予算で計上したい。

問　望まれる医療体制を求めるため、地域包括システムの構築や地域医療の考え方を示さなければならないことから、関係者が連携してまとめる必要があるのでは。

答　当然、医療だけではなく、保健・福祉をはじめ関係する課との連携や、相手方との整理は必要と考えている。

保健
衛生費

ワクチン無料接種拡大

予防接種業務委託料　８５２万５千円

問　ロタワクチンの接種年齢と対象者の拡大とは。

答　令和２年10月から定期接種が開始され、８月１日以降に生まれた子が対象。
　対象の拡大は、同年度での差をなくすため、４月２日以降に生まれた子についても、無料接種の対象とし拡大。

社会
福祉費

改修費用全額負担の理由は

デイサービス施設改修事業補助金　２６４万円
生活支援ハウス居室改修事業補助金　１３２万円

問　改修に対する国の補助金がなく、村への要請であるが、昨年実施の改修は補助基準によるもので、今回全額負担する理由は。

答　両施設の利用者は村民に限定されており、村からの委託により実施されている。
　福祉会の収益は一切ないことから、今回は全額負担とした。

清掃費

ごみ収集委託料増加の要因は

塵芥収集委託料　１８５８万円
生ごみ収集資源化委託料　６６９万円

問　委託料が昨年と比較して増額となっている要因は。

答　生ごみの委託は、人件費のアップ分で、塵芥収集委託は、家庭ごみの増加に伴い、月曜日の収集分が、一日で処理できず、増車・増員での対応となったことによるもの。

家庭ごみが増え、増車・増員で対応している

衛生費

アライグマ駆除に万全の対策を

有害鳥獣駆除補助金　６３０万６千円

問　補助金が増額となっている要因は。
　アライグマの捕獲数が増えていることから、酪農家全戸へ箱わなを設置するなど、積極的な対策が必要では。

答　賃金で計上していた部分を、補助金へ組替えたことにより増額となっている。
　今年度は５頭捕獲し、今後増えることが予測されることから、村所有の監視カメラによる生息調査や箱わなの貸出しと、駆除に対する住民啓蒙を積極的に進める。

問　鹿やアライグマなどの駆除は、隣接している帯広市や更別村と連携して取組まないと効果がないのでは。

答　連携が必要なことは認識している。アライグマに関しては、振興局が中心となって連絡会議を構成し、情報交換と対策について協議している。

提言

繁殖力が高く、生息数の増加が想定されることから、広域的な取組みで万全な駆除対策をとられたい。

積極的な駆除対策が求められる

まちづくり事業は？ 主な質疑

令和2年度 予算審査

商工観光費

トレーラーハウス 冬の活用は

札内川園地管理費　1588万3千円

問 冬期間のトレーラーハウスの活用を検討されていたが、その結果は。

答 昨年12月に耐寒試験を実施したが、調理場やトイレの問題など、利用者の安全面と管理体制を考えると、通年利用は難しいと判断した。

イベント的な短期間利用の可能性を探りたい。

充分な活用ができるよう検討工夫を

農業振興推進費

観光客へ注意喚起を

種子馬鈴薯防除対策補助金　50万7千円

問 シストセンチュウ防止対策の看板制作に、24万円が新たに見られたが、どのようなものか。

答 ほ場への立入禁止の看板を、日本語・英語・中国語・台湾語・韓国語の5ヵ国語表記で12基設置する。

ほ場への立入禁止看板

商工観光費

「道の駅」設備・機能充実へ

道の駅整備事業設計委託料　654万5千円

問 「道の駅」改修についての概略は。

答 カントリープラザ内の改修となり、加工処理室は観光協会の事務所を移転し、観光インフォメーション機能の充実を図り、多目的室の部分にキッズスペースと親子で休憩できるスペースの整備を予定している。

問 キッズスペースの設置が計画されているが、どのような遊具を想定しているのか。

答 帯広駅前の商業施設にある立体的な遊具などが参考になると思われる。

具体的にはなっていないが、今後の設計で多くの意見をもらいながら進めたい。

カントリープラザ内に観光協会事務所を移転し、観光案内機能の充実、　授乳室やキッズスペースの整備などが計画されている。

災害対策費

親子で参加・体験できる訓練を

災害対策費　642万4千円

問 防災訓練は体験する部分が少ないように思う。また、平日開催では働いている人は参加できず、親子で参加できるよう、土日開催を検討しては。

答 新年度は、小中学校・養護学校・福祉施設から参加要望があることから、地震を想定しての避難行動を、例年同様10月頃の平日開催で予定している。

訓練内容についても参加者が体験できる内容で企画したい。

なお、土日での開催は、出前講座で地区を回るということも検討したい。

提言

防災意識を高めるための訓練となるよう、実施にあたり創意工夫を。

昨年度は大雨による浸水害を想定した防災訓練。今年度は地震を想定して実施予定。

令和２年度
予算審査

今年度の住民サービスと

除雪費

担い手を確保し除雪体制維持

除雪委託料　４５１０万円

問 市街地の除雪で間口に残る雪に困っている。帯広市の一部では大型車両の後に、小型ショベルで除雪しているが、村でも対応できないか。

答 過去に企業体と相談したが、人員と機械の確保が難しく、降雪の多い村では、除雪した雪の堆積場所や排雪の課題があり、対応は難しいと判断した。

問 除雪の担い手を確保するためにも、予算は増えるが、補償のために助成をすべきでは。

答 担い手確保の状況は、企業体からも５年持たないのではないかと聞いている。

機械単価は道単価で、経費についても見直しをしながら対応しているが、降雪時の固定経費の増額なども検討したい。

教育
総務費

学習環境の改善を

中札内中学校管理費　１６６９万５千円

問 改修したばかりだが、中学１年生の教室が手狭と聞く。学習環境改善の検討はされているのか。

答 学校長から報告は受けており、ホワイトボードを設置して多目的教室を利用している。

今後の見通しとしては、30人から40人で推移することから、各教室の入替などで対応していきたい。

テストや給食時に利用している多目的教室

教育
振興費

語学指導者１名増員

語学指導講師費　１０３９万３千円

問 一名増員となるが、どのような方を採用するのか。また、待遇についてはどうなるのか。

答 アメリカ国籍の女性となる。

待遇は、地域おこし協力隊制度を活用することで住宅料は交付税措置されるため、その分を引いた形で、現在雇用している講師と同額程度となる。

体育施設
管理費

利用期間の延長を

中札内村民プール管理委託料　８３２万１千円

問 健康づくりの面でも効果が大きいことから、利用期間を一ヵ月ほど延長する考えはないか。

答 要望を受けて検討し、今年度は少し延長した。温水プールのため、燃料費との兼ね合いを考慮して期間を設定せざるを得ないことから、現行の期間が適当と判断しているが、画一的ではなく、状況を見ながら運営したい。

歳　入

使用料減少の要因は

営農用水道使用料　３９２０万２千円

問 年々使用料が減っている要因は。

答 大口の利用が減っている。近年、大型の酪農家が地下水に切替えていることから、減少している。

歳　入

教員住宅の利用状況は

教員住宅貸付収入　２７１万３千円

問 昨年、空き家となっている教員住宅を、条件が整えば一般住民に貸出すこととなったが、賃貸の状況は。

答 ４戸の教員住宅を所管替えし、２戸については既に賃貸し、残り２戸も賃貸を予定している。

介護保険
特別会計

介護カフェ開設日の増加を

認知症施策推進事業　６４万１千円

問 介護カフェの開設日が年５回となっているが、月１回程度必要ではないか。

また、一回の利用者数と実施内容は。

答 参加者は多いときで５名ほど、内容は介護経験者の体験談や介護中の方の苦労や不安なことについて話し合っている。

開設回数については、本格実施して２年ということもあり、新年度、参加者数や利用者の意見を踏まえ検討したい。

村から提案された予算について審査を行い、可決しました。

予算に対する質疑や提言が、令和２年度の予算執行にあたり十分に効果が発揮されるよう、議会として引き続きチェック機能を果たしていきます。

新ピアノ活用、GIGAスクール構想、地元商業支援など
条例改正や補正予算等可決

専決処分

◆令和元年度中札内村一般会計補正予算

昨年末のふるさと納税申込件数の大幅増により、郵送料や消耗品等の予算に不足を生じたことから、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分をしたもの。

問 多額の寄附をいただき、推測で総額6億8千万円と見込んでいるが、特別寄附として4つの基金に積立てる金額は。

また、経費となる一般寄附金の金額は。

答 基金への積立額は、文化振興基金へ6600万円、豊かな環境等創生基金へ6300万円、福祉基金へ6900万円、ふるさと活性化基金へ8800万円で、合計2億8600万円となる。

また、推測した6億8264万円から基金への積立分を差し引いた金額、3億9664万円が経費に充てる一般寄附金となる。

条例の改正

※質疑のあった主なもの

◆中札内村職員定数条例の一部改正

住民サービスの向上や公的年金の支給年齢の引上げに伴う、再任用職員制度の運用や各部局の業務を勘案して職員定数の見直しをするため、条例の一部を改正するもの。

問 部局ごとの現行の配置人員は。

答 村長部局が71人で、教育委員会部局が11人となっているが、今後再任用職員の増も想定した改正となる。

◆中札内村文化創造センター設置条例の一部改正

本年度購入したフルコンサートピアノの使用料を設定するため、条例の一部を改正するもの。

問 使用料の算出根拠は。

答 十勝管内の7市町村を調査し、ほぼ同額（一回あたり村外5千円・村内2千5百円）で設定した。

問 ステージでの利用が想定されるが、その場合の使用料は。

答 ホール使用料とピアノ使用料の両方が掛かる。

◆中札内村営住宅管理条例の一部改正

◆中札内村特定公共賃貸住宅管理条例の一部改正

◆中札内村地域振興住宅管理条例の一部改正

民法の一部を改正する法律により、債権関係の規定の見直しが行われ、保証人には債権補償の限度額を定めることや、身寄りのない単身高齢者等の増加を踏まえ、保証人の確保が一層困難になることが懸念されることから、保証人に代わり緊急連絡人を求めることとするため、条例の一部を改正するもの。

問 緊急連絡人に代わることにより、家賃の滞納が増えないか。

答 入居者との連絡を密にして、滞納が生じないよう丁寧に対応していく。

また、4月1日からの適用で、経過措置として、現在入居されている方は、現行通りの取扱いとなる

問 緊急連絡人の年齢制限等の要件は。

答 基本的には親族を想定していて、年齢制限はしていない。

その他の条例改正・規約変更

◆中札内村簡易水道設置条例の一部改正

◆中札内村営農用水道設置条例の一部改正

◆第2号会計任用職員の給与に関する条例の一部改正

◆職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正

◆中札内村及び更別村指導主事共同設置規約の全部を変更する規約

協定の変更

◆定住自立圏の形成に関する協定の変更

帯広市と管内18町村が、平成23年度から取組んできている定住自立圏構想について、現協定への追加及び削除等の項目の協議が整ったことにより、議会の議決を経ようとするもの。

工事請負契約の変更

◆新庁舎建設電気設備工事請負契約の変更

昨年9月に締結した新庁舎建設電気設備工事に、各種のネットワーク環境の設置及び既存設備の移設に係る工事を一括発注することにより、工期の短縮やコスト低減に繋がることから、当初の請負金額を変更するもの。

問 848万1千円の増額となるが内訳は。また、算出の基礎となるものは。

答 ネットワークの11の事業に係る配線となるが、設計にあたっては道単価及び見積もりによるもの。

問 設計変更となるのか。

答 当初は別々に実施予定であったがメリットを考え、設計変更を行うもの。

補正予算

※質疑のあった主なもの

中札内保育所業務費

賃金　△1627万4千円

問 パート保育士・調理員と嘱託保育士4名の応募がなく減額されたとのことだが、保育業務への支障はなかったのか。

答 保育業務に支障をきたさぬよう、職員の時間外やパート職員の出勤日数増により対応した。

また、週3日から4日、上札内保育園の園児を中札内で保育したことにより、職員の勤務の調整を図った。

狂犬病等予防対策費

エキノコックス対策検査等委託　△58万1千円

問 委託料予算が、半分以上減額になった要因は。また、駆虫薬の散布範囲と方法は。

答 1回の散布量を4千個として委託契約したが、事前調査で千個となったことによる契約変更によるもの。市街地を除き農村部全域の路肩に散布した。

問 散布の効果は。

答 5月から10月まで毎月散布し、エキノコックスに感染している抗原陽性や虫卵陽性とも大きく減少していることから、継続して実施することとしている。

GIGAスクール構想整備へ

中札内小学校管理費（工事請負費）　1035万2千円
中札内小学校教材費（備品購入費）　369万円
中札内中学校管理費（工事請負費）　1059万3千円
中札内中学校教材費（備品購入費）　184万5千円

問 文科省のGIGAスクール構想の概要は。また、どのような整備になるのか。

答 子供たちへの先端技術等の効果的な活用のため、学校のICT環境の整備が求められていることから、一人一台のタブレットと高速大容量の通信ネットワークを整備するもので、初年度は校内通信ネットワークの整備としての工事請負費と端末の購入として、備品購入費を計上する。

なお、令和元年度予算での整備が、国からの財源措置が有利なことから補正予算で計上し、令和2年度へ繰越すこととしている。

問 端末の購入計画と教員への指導は。

答 初年度には、中学一年生分41台と小学5・6年生分82台で、翌年度は中学2・3年生分、更に翌年度に小学3・4年生分、最終年に小学1・2年生分を導入し、4年間で全生徒・児童への整備を図る。

教員の研修は、既にプログラミング教育が導入され研修等が実施されているが、今後も研修受講により体制を整えていく。

文化創造センター管理費

工事請負費　4290万円

問 ボイラーの更新により冷暖房の使用できない期間は。

答 納品に4ヶ月ほどかかることから、早期に発注することで、暑くなる前のできるだけ支障の少ない時期の交換を進める。

問 更新による配管等の追加工事は発生しないのか。

答 設置当時から保守点検をしている業者からの見積りで、追加工事が無いように進めたい。

地元商店での消費促進へ

地域応援プレミアム商品券事業補助金　420万円

問 商品券の発行は住民には喜ばれると思うが、新型コロナウイルスで、一番打撃を受けているのは飲食店なので、そこに対する対策も考える必要があるのでは。

答 地元の商業をどう守るかのきっかけと位置づけ、事業を通して一人一人が地域にお金を落とすという積重ねをすることと、商業者もスタンプラリーなど様々な連携を図ってほしい。

歳入

自動車取得税交付金

△457万5千円

問 交付金が大きく減額になっている要因は。

答 昨年の消費税の増税に伴う制度改正により、取得税交付金から環境性能割交付金として新設されていて、未確定な部分もあることから、確実な数字で計上したことにより、減額となっている。

アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現し民族共生の未来を切り開く決議　（※以下概略）

アイヌ文化の復興・発展の拠点としてウポポイ（民族共生象徴空間）が北海道白老町ポロト湖畔に、4月24日誕生する。

先住民族アイヌを主題とした日本初の「国立アイヌ民族博物館」と「国立民族共生公園」等からなる施設で、道内各地のアイヌ文化振興の取組みや食・観光等の地域の多様な魅力とつなげることにより、国内外への総合的な情報発信の強化となり、国民理解の促進が大きく期待される。

ウポポイ開設を機に、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現が図られ、北海道が魅力ある大地であり続けるため、道民が協力し民族共生の未来を切り開いていかなければならないものである。

以上、決議する

提出者　宮部　修一　　賛成者　中西　千尋

― 決議案は採決の結果、採択となりました ―

議会報告会・意見交換会を開催

7名の議員が議会の活動を報告し、村民の皆さんと意見交換をする『議会報告会・意見交換会』を開催しました。

昨年の統一自治体選挙で立候補者7人と定数割れ（定数8人）となったことを受け、議会運営に関心を持ってもらい、議員のなり手不足の解消や議会の活動を知ってもらう議会改革の一環として初めて企画。

報告会の皮切りとして、2月10日に老人クラブ興農会と12日に老人クラブ寿会の会員の皆さんとの懇談を行いました。

議会報告では、令和元年度の定例会と各臨時会での主な議案と審議の経過を報告し、意見交換会では花咲くコンサートや役場新庁舎の建設費・診療所の今後の診療体制などの話題で会員の皆さんと懇談しました。

参加者からは、『議会として初めての取組みで、村づくりを皆で考える機会となり良かった』と評価を受けました。

また、各会場で出された村に対する要望や意見を取りまとめ、村長に対して2月25日に報告書を提出し、対応について要請をしました。

村議会としては、今後も各種団体やグループと意見交流の場を設け、幅広い世代から意見を聞きながら議会の改革を進めていきたいと考えているところです。

新型コロナウイルス感染防止のため、すぐには開催できないところですが、沈静化の状況を見ながら再開したいと考えていますので、議員や議会事務局にご連絡ください。

また、議会からお声掛けさせていただいた際にはご協力よろしくお願いいたします。

2月10日老人クラブ興農会

2月12日老人クラブ寿会

編集後記

新型コロナウイルスが猛威を振るっています。昨年11月に中国の武漢で発生が確認されてから6か月余り、今や世界各地へと拡散し、東京オリンピックも1年延期し、令和3年7月23日の開幕となります。感染症への対策に即した危機管理が今問われていると思います。

村新年度予算が提案されて議決をし、スタートしましたが、本年度は役場新庁舎建設、消防庁舎建設などの大型事業・命と健康を守る村立診療所医療体制の充実で、令和3年度実施に向けた北海道家庭医療学センターとの協議、準備等があります。

村議会議員も1名欠員のままですが、中札内村の特徴を生かして全国にPRするよう「みなさんの想いを村政に」を基本に頑張りますので、皆さんの声を聞かせてください。

（黒田）

Topic! 表紙の人

平成17年から保存会や地域の方々ご協力のもと、上小全校生徒で石見神楽に取組んでいます。低学年は楽器等を担当し、高学年から役を選びます。大蛇を演じるのが目標という生徒さんも多いようです。

「みんなでの練習・発表は楽しい。卒業しても、伝統芸能を守る活動に関わっていきたい。」と6年生（現：中1）の古内花さんが話してくれました。

練習後の感想・反省とお礼を伝える生徒たち

6月定例会のお知らせ

主な内容は、一般質問と議案の審査です。
あなたも村の議会を傍聴してみませんか。

議会中継はYouTubeで配信しています。村のホームページ内のボタン 議会中継 をクリックしてください。『議会中継』のページからYouTube中札内村議会公式チャンネルにアクセスできます。